

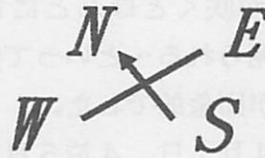
藤沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2015年5月1日

第252号



主な記事

- ・第6回ふくしまっ子リフレッシュ終わる
- ・「小さき声のカノン」上映に向けて
- ・新市議会議員への期待
- ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎/FAX 0466-87-4922

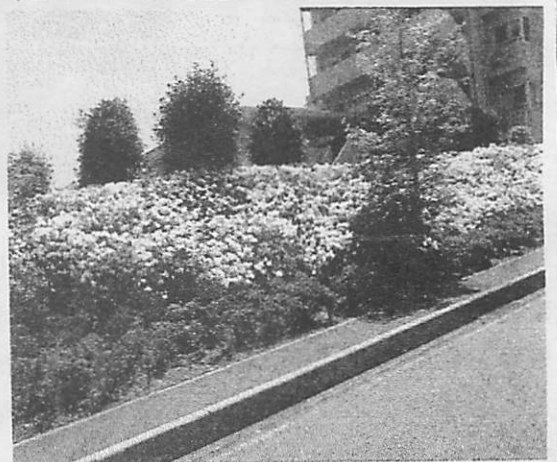
今こそ日本国憲法を！

2005年4月18日に「ふじさわ・九条の会」が結成され、「力を合わせて憲法を守る運動をこの藤沢地域に大きく展開していきましょう」と呼びかけました。

それから10年が経過しましたが、日本国憲法をめぐる状況は厳しさを増し、いまや日本が海外で戦争に加担する危険性が現実味を帯びてきました。戦後70年の歳月を経て、過去の戦争の記憶が遠ざかるなかで、日本が行った植民地支配や侵略戦争の歴史を否定し、書き換えようとする動きが強まっています。

この動きに連動して、特定秘密保護法が制定され、さらに集団的自衛権行使容認の閣議決定がされました。憲法九条を否定し、米国に追随して海外で武力行使が出来るようにするために、自衛隊法の改定や国際平和支援法（派兵恒久法）の制定など「戦争立法」が進められようとしています。さらに沖縄では、明確に示された民意をまったく無視して、現政権は米国の圧力のもとで、辺野古に米軍の巨大な恒久基地を造ることを強引に進めています。現政権はさらに進んで、憲法前文に積極的平和主義を書き込み、自衛隊を憲法上でも軍隊として明記するために憲法九条の改定を行なう第1段階として、2016年の参議院議員選挙後に、国会議員の3分の2による憲法改定の発議や、国民投票を計画しています。

このような中で重大なことは、改憲勢力が、「九条の会」に対抗して、憲法改定の素地を草の根から固めようとしていることです。憲法改定の総本山である「日本会議」のメンバーの地方議員が、「憲法問題」の議論をしようと藤沢でも動き出しており、また、海外出撃の尖兵とされる掃海艇が、毎年年末に江の島に来航しています。「ふじさわ・九条の会」は、その結成10周年に当たり、日本国民が平和を享受し、近隣諸国と平和のなかで共存することができるように、日本国憲法を守り活かすために力を尽くすことを宣言します。改憲勢力が国民投票提案を断念せざるを得なくなるように、世論を大きく高めていきましょう。さまざまな組織や個人と小異を越えて手を結びましょう。地域九条の会を広げ増やし、地域に根ざした活動を進めていきましょう。日本国憲法を守り抜きましょう。 2015年4月29日「ふじさわ・九条の会」10周年記念アピールより（斉藤隆夫）



ツツジ（石川の大型スーパー店そばの道路で）

ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南&こどもの国

日本は桜の花が咲くといほんとにきれい！福島へ帰ったらまた見られる…といって帰って行った福島のお母さんが印象的でした。

3月28日～4月1日、4泊5日での春のリフレッシュは成功裏に終わりました。6回目となった今回の保養は、親子39人で今までで最も多数の参加でした。

こどもの国の方々、日本大学の方々、そしてたくさんボランティアの皆さま、募金をして下さった方々のお力でこの事業ができたことに感謝申し上げます。

福島原発事故から5年目となった南相馬市、福島市、いわき市などから集まった14家族は、暖かな湘南で過ごし楽しかったと感想を述べ、また参加したいと言って帰りました。

1日目はバスがこどもの国に到着したのは15時でしたが、疲れも見せず元気に遊びました。こどもの国は広くて宿舎まで15分かかり、自転車や遊具、ポニーなどの動物、また池でイカダに乗るなどの体験ができ本当に楽しかったようです。宿舎ではボール遊び、手作りおもちゃも大人気、こどもの国50周年で紙芝居のサービスもあり、今回は初参加の方が多くよく遊びました。



砂像のお城が出来た！

藤沢では30日、砂の芸術？をして楽しみ、「生まれて初めて素足になって遊んだ」と4歳の子どものお母さんが感激。湘南白百合のお姉様方15人もボランティアで参加して下さり、砂像のカメやタコ、お城やケーキをつくり、風もなく暖かな海岸で過ごしました。江の島の灯台へも市の計ら

いで無料見学。参道はたいへんな混雑でしたが、時間がある限り見学できました。



ヤギとヒツジの見学

31日は日大の教授と学生さんたちにより、ダチョウやポニー、ヤギやヒツジと説明を交えての触れあいができ楽しかったようです。博物館では動物の骨格標本に目を輝かせていました。江の島や鎌倉へお出かけしたり、湘南台子ども館で遊んだ親子もいます。過ごし方については自由にを原則にしていたので、それぞれがゆっくりできました。何より桜の花がきれいなことと、穏やかな天候に恵まれての湘南は「良いところ」との印象が強かったようです。

31日の夕食と交流会は盛り上がりしました。お料理はたくさんあり、あいさつの後、小野さん（コカリナの名手）のトークと歌（8人の楽団）で始まり、福島から藤沢に避難されている親子の方も参加され、剣玉やお菓子などのプレゼントを報告し、日大の学生さんによるジャグリングは大喜び、小学生2人による剣玉の披露も歓声が上がりました。それぞれ心がこもった交流会は親子にとって心に残る思い出になったことでしょう。

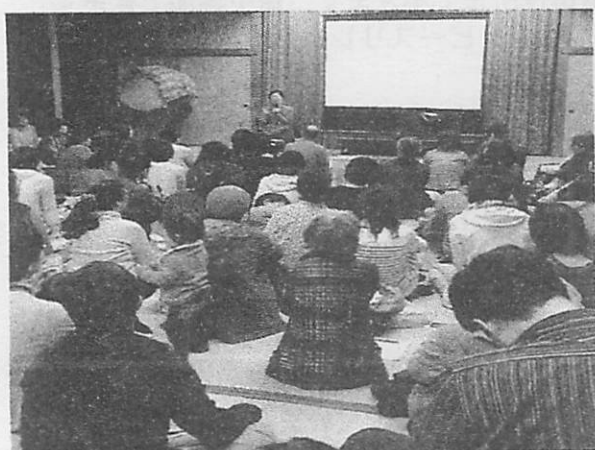
宿舎を提供して下さいました日大と顧問の糸長教授にはたくさんの援助をしていただき感謝申し上げます。

私たちは今、福島の放射能という目に見えない物質で健康被害を案じながら、できる限りの支援を続けて行きたいと願っています。（福島の子どもたちとともに・湘南の会 荒井かつ子）

『小さき声のカノン』自主上映会に向けて

4月19日に行われたイベント「アースデイ大船観音」にて、ドキュメンタリー映画『小さき声のカノン』未収録映像の上映と鎌仲ひとみ監督の講演を開催しました。

「核と被ばく」の現場を10年以上追い続け、既に3本の映画を制作した鎌仲監督、小泉修吉プロデュースの遺作で、3.11後の世界を生きる私たちに向けて作られたのが『小さき声のカノン』です。3.11後の福島と、チェルノブイリ後のベラルーシで、子どもを守ろうとする母親たちの姿を追った本作をひとりでも多くの人に観て欲しい。その一心で企画し、100人近い方が参加くださいました。



私には5歳と3歳の子どもがいます。3.11が起きて、様々な場面で子どもを守ろうとすることが闘いになってしまいました。断絶や拒絶、嘲笑や非難にまみれ、悔しさと悲しさの中でもがき続ける苦しい闘いです。『小さき声のカノン』は、4年が経ち、闘いに疲弊してしまった母親たちの心を繋ぎ、3.11後の現状や福島の今を忘れかけた人達を再び結びつけてくれる。そんな映画が人々の間に広がっていくこと、そのこと自体が強靱な希望になると思っています。

上映会後の監督のお話は、厳しい現実を伝えながら希望と指針を与えてくれるものでした。子どもたちを守るために保養が重要であり、脱被ばくを巡る活動は命を守る“文化活動”であること。

9月に、湘南台で『小さき声のカノン』自主上映会と鎌仲監督講演を行います。1人でも多くの方に観ていただけることを願っています。

田島絵里子（イマジン湘南）

新市議会議員への期待

4月26日、藤沢市議会選挙が行われ、36人の新市議会議員が誕生した。

市内全有権者約33万6千人のうち約13万人が投票し、投票率38.73%と40%に届かなかった。全国的に多くの選挙で投票率は過去最低となった。理由は様々あると思うが、選挙活動への異常な規制もひとつある。

選挙登録団体でない人が、自分の推薦する人を自由に他人に宣伝することができないなどの規制で、選挙への関心が広がらない。

また政治への期待が見えない事も大きな原因ではないかと思う。格差は進み、ちっとも暮らしは良くなっていない。誰を選んでも同じとあきらめムードが広がっている。ところが、その陰でこの国は危ない方向にますます舵を切っていく。原発再稼働、集団的自衛権行使、TPP参加へと進んでいく。今、地方議会からも関心を高め、ストップの声を上げないと大変な事になる。

新藤沢市議会では前議長の高橋八一氏が思わぬ落選をし、20代、30歳代の若手議員が多く進出した。新鮮な目で身近な暮らしの向上、平和な国をめざして大いに活躍していただきたい。

女性議員は36人中5人で14%、これでは男女共同参画社会は程遠い。女性の社会参画の課題が求められる。

藤沢エコネットでは環境アンケートを候補者に実施し、12人から回答を得て前号に結果を掲載した。

1. 当選後取り組みたい環境・防災問題については①地球温暖化防止、②エネルギー・農水産物の地産地消、③ごみ問題、④地震・津波などの防災対策が多かった。
2. エネルギーの地産地消で取り組みたいものは①新電力活用による電力の地産地消、②市民主体型エネルギーの地産地消の仕組みづくり。
3. 防災対策について、まずすすめたい施策は公共施設の耐震。
4. 問題の公共施設への関心では藤高跡地および市民会館と南図書館老朽化。
5. 相鉄線延伸について、辻堂・寒川延伸、計画反対、どちらとも言えない、どれも同数。
6. 大気汚染は市民調査を参考に取り組むべき。
7. ごみ有料化について、このままでよいが半数で占めた。

今後新議員さんと共に環境問題に取り組んでいきたい。

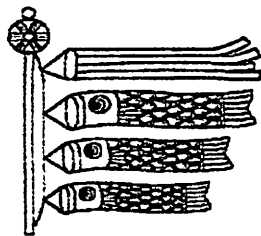
（青柳節子）

放射能測定値

4月に市民が計測しました

(HOROBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

桐原公園 水飲み場	0.038
桐原公園前歩道	0.044
朝日町えんせき橋	0.036
朝日町道路	0.039
市民会館和室内	0.044
円行民家の庭	0.053
円行一丁目道路	0.042
神奈中バスの中	
(ライオンから辻堂行き)	0.035



ECONET INFORMATION

学習会「海と魚の放射能汚染」

講師 川崎 健さん (東北大学名誉教授)

5月23日14時-、鶴沼公民館

湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

講演「原発と海」

5月31日(日) 14時~16時

湘南アカデミア (江ノ電第2ビル7階)

主催/湘南日独協会

武田問題対策連絡会

5月15日(金) 18:30~ 推進センターにて

問い合わせ ☎ 09063175547

NGO活動から集団的自衛権を考える

中村哲さんの講演ほか

とき 5月31日(日) 14:00-16:00

ところ JAさがみ本店 (要予約 参加費無料)

主催/問合せ フォーラム21湘南 080-9691-0547

第4回震災復興支援コンサート

収益金はふくしまっ子支援活動に役立てます

6月14日(日) 13:30-15:30

藤沢市民会館第1展示ホール

参加費500円

主催/問合せ 震災復興支援コンサート実行委員会

Tel/fax 0466-33-2248 永山 33-4820 松本

ECONET INFORMATION

II SORA2015首都圏シンポジウム

あれから4年 震災・原発災害克服の途を探る

5月16日(土) 11:00-17:50

日本大学藤沢キャンパス本館大講堂 無料

主催 飯館村放射能エコロジー研究会ほか

問い合わせ E-mail: sympo@iitate-sora.net

学習会 秘密保護法と「戦争立憲」

講師 青木 理さん (ジャーナリスト)

5月9日(土) 18:00- 市民会館第2展示ホール

主催 秘密保護法廃止をめざす藤沢の会

☎090-5444-6669

平和行進 ノーマア広島、長崎

核兵器のない平和な世界を願って

とき 5/16(土) 8:45

集合 若尾山公園 (藤沢ハローワーク前)

茅ヶ崎市役所まで歩きます 途中参加できます

主催/問合せ ピースリレーふじさわ ☎33-4820



藤沢エコネットから

◆日大バラ園見学&総会

5/30(土) 10:00~13:00

日大バラ園にて観察会、その後に日大食堂にて総会を

開催します。(六会日大前下車)

◆学習会 「放射能汚染水の流出の真実」

6/27(土) を予定しています

◆会員募集=年会費・購読料→3000円

◆事務局会議 5月9日(金) 10:00~

市民活動推進センター



《編集後記》 一斉地方選挙が終わり、県会、市会とも活発な議会になると思う。市議会には私たち住民の直接関わることなので、無所属の議員方々(18名)はどこの会派に所属となるのかも関心がある。環境問題で請願・陳情が出された場合の採決は議員の考え方に関わってくるので重要であり行方を見たい。かつて、脱原発の意見書を国に要望したが(2012年3月)その時は18対16で採択され国へ意見書が出された。しかし昨年6月、「原発再稼働を許さず、原発ゼロを求める意見書の提出を求める陳情」は不承になった経緯がある。住民の代表である市議会議員は地方議員としての独自性を発揮して欲しい。(H)